
住宅の省エネルギーフォームの支援強化について (特に先進的窓リノベ事業について)

※本資料は、令和4年12月9日時点のものです。

今後修正があった場合は、経済産業省及び環境省のホームページ等において公表します。

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室

住宅の省エネルギーフォームへの支援の強化

令和4年度補正予算

- 住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等（経済産業省・環境省） 1000億円
- 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金（経済産業省） 300億円
- こどもエコすまいる支援事業（国土交通省） 1500億円（新築・リフォームの合計）

目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する改修や高効率給湯器の導入などの住宅省エネ化への支援を強化する必要。

国土交通省、経済産業省及び環境省は、住宅の省エネルギーフォームを支援する新たな補助制度を創設するとともに、3省の連携により、各事業をワンストップで利用可能（併用可）とする。

対象

※ 補正予算案閣議決定日（令和4年11月8日）以降に契約を締結し、事業者登録後（こどもみらい住宅支援事業の登録事業者は、下記の事業の事務局開設日（R4.12中旬予定）（開設日以降に登録申請した場合は、その申請の日）以降）に着工したものに限り。

工事内容		補助対象	補助額
①省エネ改修	1) 高断熱窓の設置※1	高性能の断熱窓 （熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの）	リフォーム工事内容に応じて定める額（補助率1/2相当等） 上限200万円/戸
	2) 高効率給湯器の設置※2	高効率給湯器 （(a)家庭用燃料電池、(b)ヒートポンプ給湯機、(c)ハイブリッド給湯機）	定額 (a)15万、(b)(c)5万円
	3) 開口部・躯体等の省エネ改修工事※3	開口部・躯体等の一定の断熱改修、エコ住宅設備（節湯水栓、高断熱浴槽等）の設置	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限30万円/戸*
②その他のリフォーム工事※3 （①1）～3）のいずれかの工事を行った場合に限る）		住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等	* 子育て世帯・若者夫婦世帯は、上限45万円/戸（既存住宅購入を伴う場合は60万円/戸） * 安心R住宅の購入を伴う場合は、上限45万円/戸

※1 住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等（経済産業省・環境省）による支援

※2 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金（経済産業省）による支援

※3 こどもエコすまいる支援事業（国土交通省）による支援

住宅の省エネ化支援の3省連携施策のポイント

- 住宅の省エネ対策として、令和4年度第2次補正予算において、3省合計で**2800億円**を計上。
- 3省庁のリフォーム支援策のそれぞれのメニューを**組み合わせてもワンストップで活用可能**（単独でも可）。
- 補助金の申請手続きや消費者への還元を事業者が代行する、**簡単な手続き**。
- 11月8日以降の契約を支援対象とし、**事業者登録後に着工可能となる迅速な制度立ち上げ**。

開口部・躯体のリフォーム

◆ 窓の断熱改修

（ガラス交換、内窓設置、外窓交換等）

高性能なものについて、環境省・経産省事業で手厚く補助。

（Uw1.9以下等。工事内容ごとに定額を補助）

◆ ドアの断熱改修

◆ 壁・天井・床等の断熱改修

エコ住宅設備の導入

◆ 太陽熱利用システム

◆ 節水型トイレ

◆ 高断熱浴槽

◆ 高効率給湯器

要件を満たしたものについて、経産省事業で手厚く補助。

（機器ごとに設けられた定額を補助）

◆ 節湯水栓

◆ 蓄電池

その他のリフォーム工事

◆ 子育て対応改修

（ビルトイン食器洗機、掃除しやすいレンジフード、ビルトイン自動調理対応コンロ、浴室乾燥機、宅配ボックス、キッチンセットの交換を伴う対面化等）

◆ 防災性向上改修

◆ バリアフリー改修

（手すりの設置、段差解消、廊下幅等の拡張、衝撃緩和畳の設置）

◆ 空気清浄機能・換気機能付きエアコン

◆ リフォーム瑕疵保険等への加入

省エネ改修（必須）

と

その他のリフォーム

の

組み合わせでも、“ワンストップ”で活用可能な省エネ化支援制度！！！！

新築住宅は、

子育て世帯等向けにZEH水準の省エネ性能を有する住宅を重点支援！

※具体的に使用可能な製品や、申請方法等については、後日事務局から発表される内容をご確認ください。

住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等

(環境省「断熱窓への改修促進等による家庭部門の省エネ・省CO2加速化支援事業」含む)



令和4年度補正予算 : 1,000億円

既存住宅の断熱性能を早期に高めるために、断熱窓への改修による即効性の高いリフォームを推進します。

1. 事業目的

- ・既存住宅の早期の省エネ化による、エネルギー価格高騰への対応（冷暖房費負担の軽減）。
- ・2030年度の家庭部門からのCO2排出量約7割削減（2013年度比）への貢献。
- ・2050年ストック平均でZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保への貢献。

2. 事業内容

①既存住宅における断熱窓への改修を促進するため、以下の補助を行う。

既存住宅における断熱窓への改修

補助額：工事内容に応じて定額（補助率1/2相当等）

対象：窓（ガラス・サッシ）の断熱改修工事

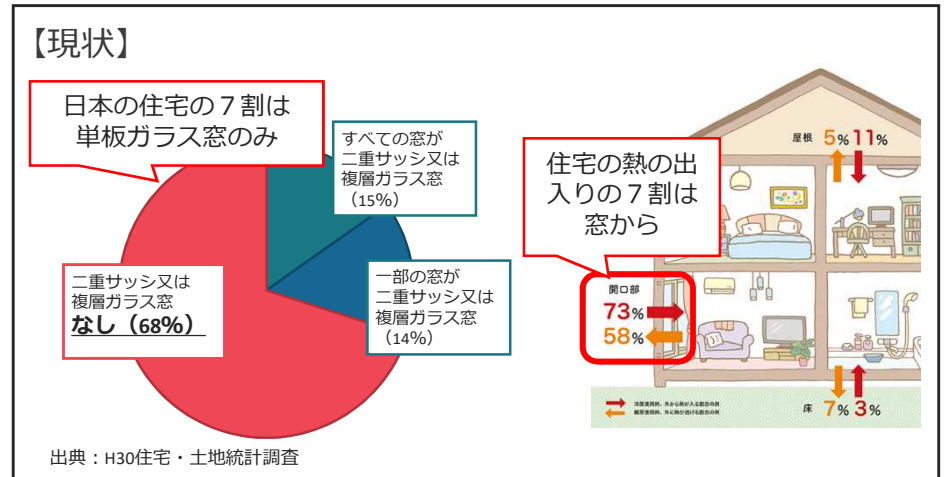
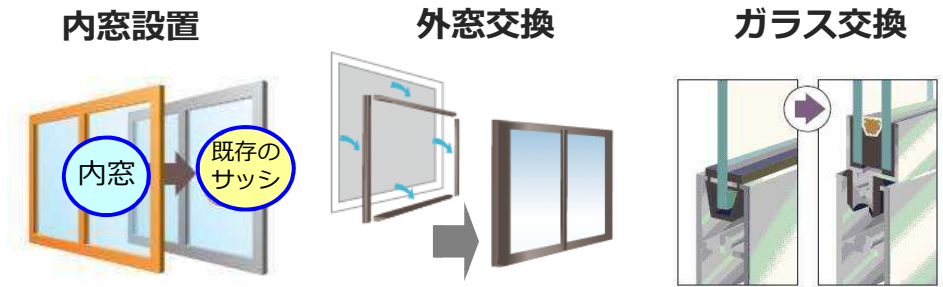
（熱貫流率（Uw値）1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの）

②本補助事業の運営に必要な、データ管理・分析等の支援を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 ①間接補助事業 ②委託事業
- 補助対象 民間事業者・団体
- 実施期間 令和4年度

4. 補助事業対象の例



お問合せ先：

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室

電話：0570-028-341

1 制度の目的

エネルギー価格高騰の影響を受けやすい子育て世帯・若者夫婦世帯*による高い省エネ性能(ZEHレベル)を有する新築住宅の取得や、住宅の省エネ改修等に対して支援することにより、子育て世帯・若者夫婦世帯等による省エネ投資の下支えを行い、2050年カーボンニュートラルの実現を図る。

※子育て世帯：18歳未満の子を有する世帯 若者夫婦世帯：夫婦のいずれかが39歳以下の世帯(年齢はいずれも令和4年4月1日時点)

2 補助対象

高い省エネ性能を有する住宅の新築、一定のリフォームが対象(事業者が申請)

※補正予算案閣議決定日(令和4年11月8日)以降に契約を締結し、事業者登録後(こどもみらい住宅支援事業の登録事業者は、本事業の事務局開設日(R4.12中旬予定)(開設日以降に登録申請した場合は、その申請の日)以降)に着工したものに限り。

子育て世帯・若者夫婦世帯による住宅の新築

対象住宅	補助額
OZEH住宅 (強化外皮基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲20%に適合するもの) ※対象となる住宅の延べ面積は、50㎡以上とする。 ※土砂災害特別警戒区域における住宅は原則除外とする。 ※「立地適正化計画区域内の居住誘導区域外」かつ「災害レッドゾーン(災害危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域又は浸水被害防止区域)内」で建設されたもののうち、3戸以上の開発又は1戸若しくは2戸で規模1000㎡超の開発によるもので、都市再生特別措置法に基づき立地を適正なものとするために行われた市町村長の勧告に従わなかった旨の公表に係る住宅は除外とする。	100万円/戸

住宅のリフォーム*

対象工事	補助額
①住宅の省エネ改修 ②住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等(①の工事を行った場合に限り。) ※住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等(経済産業省・環境省)又は高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金(経済産業省)により住宅の省エネ改修を行う場合は、①の工事を行ったものとして②の工事のみでも補助対象とする。	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限30万円/戸※ ※子育て世帯・若者夫婦世帯は、上限45万円/戸(既存住宅購入を伴う場合は60万円/戸) ※安心R住宅の購入を伴う場合は、上限45万円/戸

3 手続き

こどもみらい住宅支援事業の登録事業者は、本事業の事務局開設日(R4.12中旬予定)(開設日以降に登録申請した場合は、その申請の日)以降の着工であること



※1 注文: 工事請負契約、分譲: 売買契約 ※2 完了報告期限までに省エネ住宅の新築工事全体が完了していない場合は、補助金返還の対象

* 住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等(経済産業省・環境省)及び高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金(経済産業省)とのワンストップ対応を予定

高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金

【令和4年度補正予算額：300億円】

● 家庭で最大のエネルギー消費源である給湯器の高効率化を支援する補助金を新たに創設。

補助対象

高効率給湯器（ヒートポンプ給湯機、ハイブリッド給湯機、家庭用燃料電池）が対象。
 ※省エネ法に基づくトップランナー制度における省エネ基準を満たすもの等に限る。

	ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	ハイブリッド給湯機	家庭用燃料電池 (エネファーム)
補助額 (予定)	5万円/台	5万円/台	15万円/台

ヒートポンプ給湯機（エコキュート）

家庭用燃料電池（エネファーム）



出所) 三菱電機



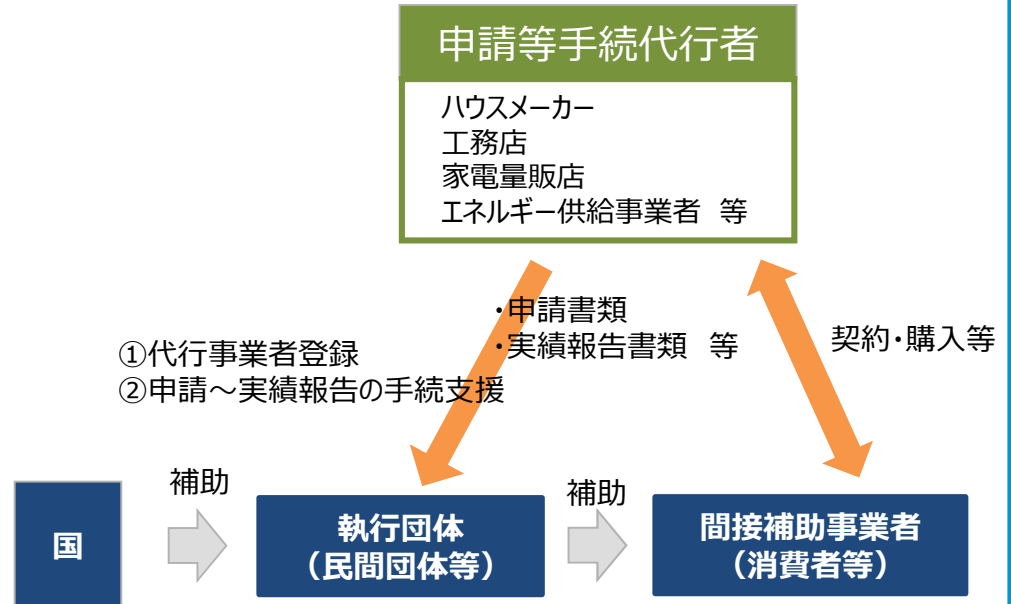
出所) リンナイ



出所) アイシン

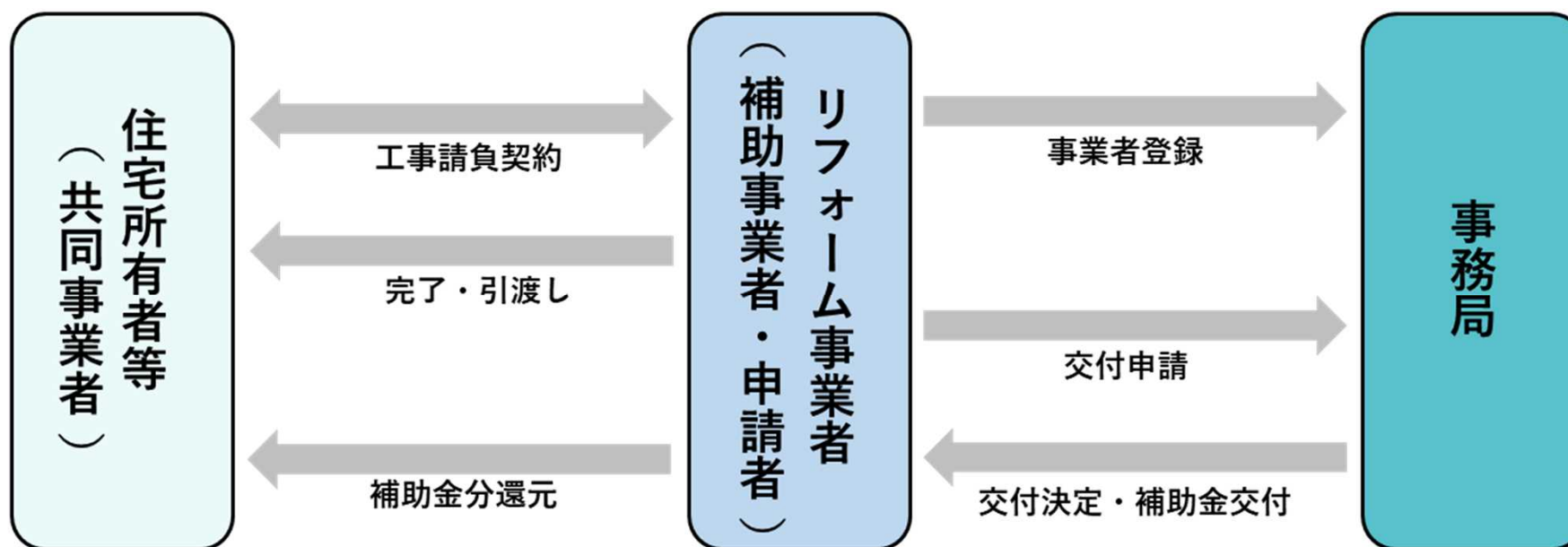
事業スキーム

消費者等に対し、家庭でのエネルギー消費量を削減するために必要な高効率給湯器の導入に係る費用を補助。
※ 申請手続については、消費者等と契約の締結等を行った事業者等が代行する



※令和4年11月8日以降に契約を締結し、事業者登録後に着工したものに限り。

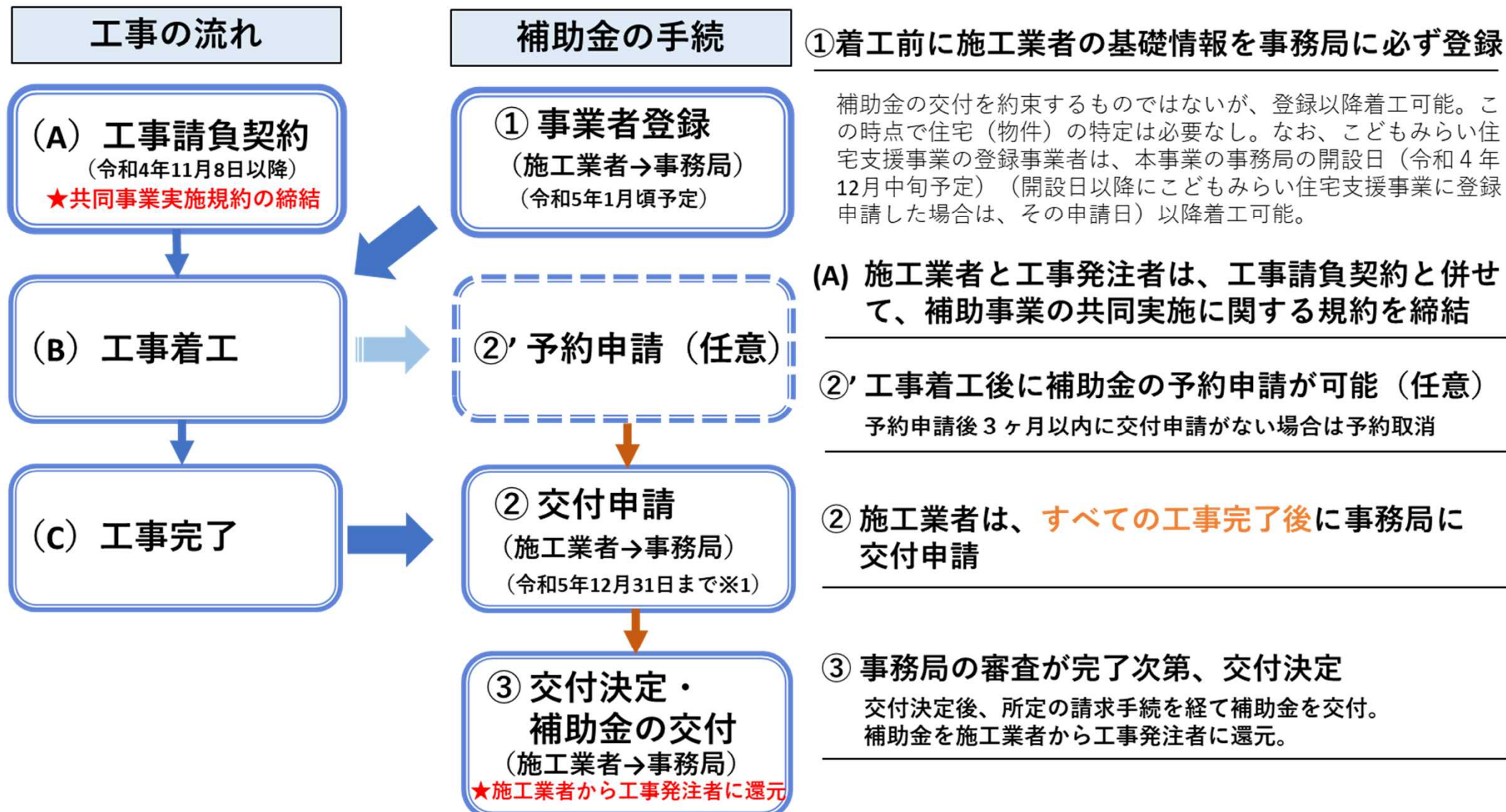
- 事業者の方々に、補助事業者として申請手続きを行っていただきます。
- 住宅所有者等は、共同実施者として、すべての申請手続きに協力するものとします。
- 補助金は、事業者から住宅所有者等に全額を還元していただきます。



申請者：リフォーム工事施工業者（工事請負業者）^{※1}



※1 対象工事を複数の事業者に発注（分離発注）する事業は、1事業者（代表事業者）がすべての手続きと補助金の受領を代表して行う場合に限り、申請を行うことができます。共同事業者および他の工事請負業者が手続きに協力することが必要になりますので、ご注意ください。



※1 予算上限に達した場合、これよりも早く受付を終了する可能性があります。

対象要件（改修後の窓の断熱性能）



改修後の窓の性能が、対象住宅の種類に応じて下表に掲げる熱貫流率^{※1}の基準を満たすものについて、補助金交付の対象となります。

住宅の種類	ガラス交換 ^{※3}	内窓設置 ^{※4}	外窓交換 (カバー工法 ^{※5})	外窓交換 (はつり工法)
戸建住宅および 低層集合住宅 ^{※6}	Uw1.9以下	Uw1.9以下	Uw1.9以下	Uw1.9以下
中高層集合住宅 ^{※7}	Uw1.9以下	Uw1.9以下	Uw2.3以下	Uw1.9以下

- 申請する際には、対象工事に関する証明書等^{※2}が必要になります。
- 同一の住宅について、上表に掲げる性能等を満たすリフォーム工事を複数回行う場合、複数回の申請を行うことが可能です。なお、一つの窓に対し、複数回の改修を行うことはできません。
- 本事業と補助対象が重複する国の他の補助制度については、原則として、本事業との併用はできません。なお、地方公共団体の補助制度については、国費が充当されているものを除き、併用可能です。

※1 国立研究開発法人建築研究所が公表する「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「2.エネルギー消費性能の算定方法 2.1算定方法 第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 5.部位の熱貫流率 5.2開口部 5.2.4大部分が透明材料で構成されている開口部（窓等）又は大部分が不透明材料で構成されている開口部i（ドア等）の熱貫流率」（令和4年9月更新）に基づき、開口部の熱貫流率は、JIS A 2102-1などによる方法の他、当該窓の仕様に応じて付録Bで定める熱貫流率の値によることもできます。

※2 性能証明書（本事業実施のために新たに定めるもの）及び工事写真（工事前後）

※3 既存窓のガラスのみを取り外し、既存窓枠をそのまま利用して、複層ガラス等に交換するものをいいます。

※4 既存窓の内側に新たに窓を新設するもの、及び既存の内窓を取り除き新たな内窓に交換するものをいいます。

※5 既存窓のガラスを取り外し、既存窓枠の上から新たな窓枠を覆い被せて取り付け、複層ガラス窓等に交換する工法をいいます。

※6 3階建以下の集合住宅をいいます。

※7 4階建以上の集合住宅をいいます。

こどもエコすまい支援事業との違い【断熱性能】

事業	分類	建て方	地域区分後のと熱貫流率の基準値 (W/(m ² ・K))				
			1～2地域	3地域	4地域	5～7地域	8地域
先進的 窓リノベ 事業	SS	共通	1.1				
	S	共通	1.5				
	A	共通	1.9				
	B	中高層	2.3 (中高層以上の集合住宅における外窓交換(カバー工法)のみ)				
こどもエコ すまい 支援事業	ZEHレベル	戸建	1.9	1.9	2.3	2.3	—*
		共同	1.9	2.3	2.9	2.9	—*
	省エネ基準 レベル	戸建	2.3	2.3	3.5	4.7	—*
		共同	2.3	2.3	3.5	4.7	—*

*こどもエコすまい支援事業において、8地域の基準は日射遮蔽率について、0.52（窓及びドア）又は0.65（ガラス）。省エネ基準レベルとZEHレベル共通。

こどもエコすまい支援事業との違い【補助対象・単価】

(円。ガラス交換：1枚あたり。その他：施工箇所1か所当たり)

工種	グレード	熱貫流率	戸建住宅・低層集合住宅			中高層以上集合住宅		
			大	中	小	大	中	小
ガラス交換	SS	Uw1.1以下	48,000	30,000	8,000	48,000	30,000	8,000
	S	Uw1.5以下	32,000	21,000	5,000	32,000	21,000	5,000
	A	Uw1.9以下	26,000	17,000	4,000	26,000	17,000	4,000
	ZEHレベル		12,000	9,000	3,000	12,000	9,000	3,000
	省エネ基準レベル		9,000	6,000	3,000	9,000	6,000	3,000
内窓設置	SS	Uw1.1以下	124,000	84,000	53,000	124,000	84,000	53,000
	S	Uw1.5以下	84,000	57,000	36,000	84,000	57,000	36,000
	A	Uw1.9以下	69,000	47,000	30,000	69,000	47,000	30,000
	ZEHレベル		31,000	24,000	20,000	31,000	24,000	20,000
	省エネ基準レベル		23,000	18,000	15,000	23,000	18,000	15,000
外窓交換	SS	Uw1.1以下	183,000	136,000	91,000	221,000	151,000	93,000
	S	Uw1.5以下	124,000	92,000	62,000	150,000	102,000	63,000
	A	Uw1.9以下	102,000	76,000	51,000	123,000	84,000	52,000
	B	Uw2.3以下	—	—	—	89,000	61,000	38,000
				※カバー工法のみ				
	ZEHレベル		31,000	24,000	20,000	31,000	24,000	20,000
省エネ基準レベル		23,000	18,000	15,000	23,000	18,000	15,000	
ドア交換	ZEHレベル		45,000	—	40,000	45,000	—	40,000
	省エネ基準レベル		34,000	—	30,000	34,000	—	30,000

【サイズの解説】

	ガラス (一枚)	サッシ (一カ所)
大	1.4㎡以上	2.8㎡以上
中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	1.6㎡以上 2.8㎡未満
小	(0.1㎡以上) 0.8㎡未満	(0.2㎡以上) 1.6㎡未満

※断熱窓事業では小サイズの下限はなし。

	ドア
大	開戸：1.8㎡以上 引戸：3.0㎡以上
小	開戸：1.0㎡以上 1.8㎡未満 引戸：1.0㎡以上 3.0㎡未満

先進的窓リノベ
事業

こどもエコすまい
支援事業

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る 国民運動について

今、「住宅」と「健康」の深い関わりに、 世界的な注目が集まっています！



健康！

入浴中の事故は交通事故より多い！

温度差によるヒートショックのリスクも！

暖かいリビングからお風呂場へ移動したとき、寒い！と感じたことはありませんか？ 冬季の入浴中の死亡数はその他の時期と比べて何倍にもなっており、冬場の入浴事故には、温度差が引き起こすヒートショックの影響が大きいと推測されています。身体に大きな負担がかかる部屋間の寒暖差には、家の断熱性能が大きく関わっています。

日本全国の年間の入浴中死者数の推計値

約2,839人

約1万9千人

交通事故死者数
(令和二年)

出典：厚生労働科学研究費補助金「入浴関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究」、平成24～25年度 総合研究報告書、警察庁「令和2年における交通事故の発生状況等について」



WHOの「住宅と健康に関するガイドライン」で
冬季室温を18℃以上にと強く勧告！

世界保健機関（WHO）は、室内の過剰な暑さや寒さに関する健康へのリスクを回避するため、温暖あるいは寒冷地域の寒い季節においては、室温を18℃以上とすることを強く勧告しています。

POINT 1 冬季室温18℃以上（小児・高齢者にはさらに暖かく） 【強く勧告】

POINT 2 寒い季節がある地域での住宅の断熱化 【勧告】

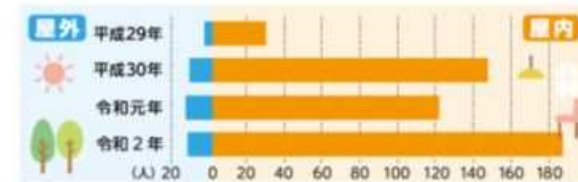
POINT 3 夏季室内暑熱対策 【勧告】

出典：世界保健機関「住宅と健康のガイドライン」より作成

夏の部屋が暑すぎると感じませんか？
家の中でも熱中症に注意が必要です！

2020年夏、浜松市では国内最高気温(41.1℃)を記録。多くの地域で最高気温を観測しました。全国の熱中症による救急搬送者や死亡者数は増加傾向にあります。窓や天井の断熱性を高めることで、屋外から熱が入る割合を減らし、自宅を涼しく保つことが有効です。

東京23区での熱中症死者数の推移



出典：東京都健康医療院「令和2年夏の熱中症死亡者の状況（東京都23区）」

断熱リフォーム実施後の健康への影響調査結果！

出典：「健康・国土交通省 スマートフェルティクス住宅等推進協議会事業（2014年度～）」もももと作成



室温と血圧の関係

断熱リフォーム後、
最高血圧は平均3.5mmHg低下！

室温が低下すると血圧は上昇します。例えば室温が20℃から10℃に低下すると80歳女性で最高血圧が11.6mmHg上昇。一方、断熱性を高める省エネリフォームを行った後の計測では、起床時の最高血圧は平均で3.5mmHg低下しました。

室温低下(20℃→10℃)時の最高血圧

80歳	女性の場合	11.6mmHg 上昇
	男性の場合	10.2mmHg 上昇
30歳	女性の場合	5.3mmHg 上昇



健康診断結果

寒い住環境だと、
健康診断の結果に影響！

室温が18℃未満の住宅に住む人は、18℃以上の住宅に住む人に比べると健康リスクが高い傾向が！

室温18℃未満の住宅に住む人の健康リスク

総コレステロール値が基準範囲を超える人	2.6倍
心電図の異常所見のある人	1.9倍



入浴方法との関係

寒い脱衣所からの“熱め入浴”で、
ヒートショックのリスク増加！

居間や脱衣所の室温が18℃未満の住宅に住む人は、ヒートショックのリスクを高める熱め入浴(42℃以上)が約1.8倍に増加。部屋間の温度差をなくし、家全体を暖かくすることが重要です。

さあ、はじめよう。

エコ住宅・断熱リフォーム!

室温は、家の窓や壁、床や屋根などさまざまな部分から、外気温の影響を受けています。部分ごとの熱の出入りを知り、効果的なところから断熱リフォームをはじめましょう!

暖冷房効果を高める
外壁断熱

外壁断熱

外壁に断熱材を施工して冬は熱の流出を、夏は室内への熱の侵入を防ぎます。これによって暖冷房効果が高まり省エネに。

底冷えを解消する
床下断熱

床断熱

冬の冷たさは足元から感じるものです。床下にマット・ボード状などの断熱材や気流止めを施工することで、冷気の侵入や底冷えを防止します。

窓断熱

断熱リフォームを検討するなら、まずは効果の高い窓から。内窓の設置やガラス交換など室内側の結露防止、防音などにも効果があります。また製品によっては防犯性が向上します。

「単板の窓が寒い! 結露が気になる! / そんな時の対応策

対応策 1 カバー工法 + 複層ガラス

対応策 2 内窓の取り付け (二重窓)



効果が高い!
窓の断熱

夏増50℃以上になることもある
天井裏を断熱

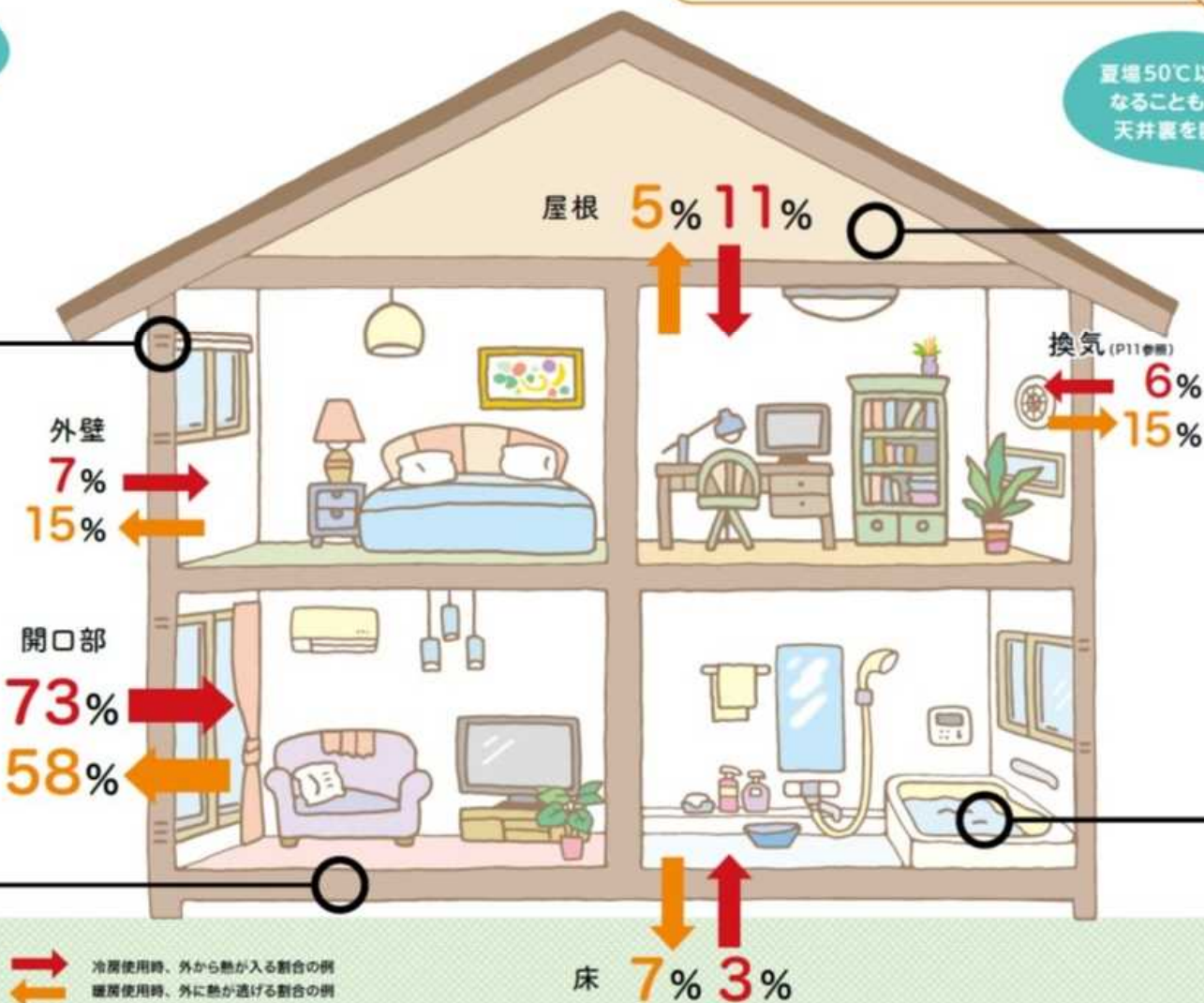
天井断熱

天井裏に断熱材を敷き詰めることで、冬は室内から熱が逃げていくのを防ぎ、夏は天井からの火照りを抑え、暖冷房効果を高めます。夏の天井裏の気温は50℃以上に達することもあります。

暖かく快適な
浴室に!

浴室断熱

浴室リフォームにあわせて、窓や躯体を断熱施工することや断熱タイプのユニットバスに交換することで暖かい浴室に生まれ変わります。さらに、浴槽に保温材のついたユニットバスにすることで、湯温も下がりにくなります。



光熱費や水道代の悩みを、省エネリフォームが解決！

住まいの快適化は

省エネリフォームでほとんど実現！

リフォーム検討者が悩みとして挙げたのは、1位「光熱費を安くしたい」、2位「水道代を安くしたい」。住まいを快適にするために行いたいことのほとんどは、省エネリフォームで解決可能です！

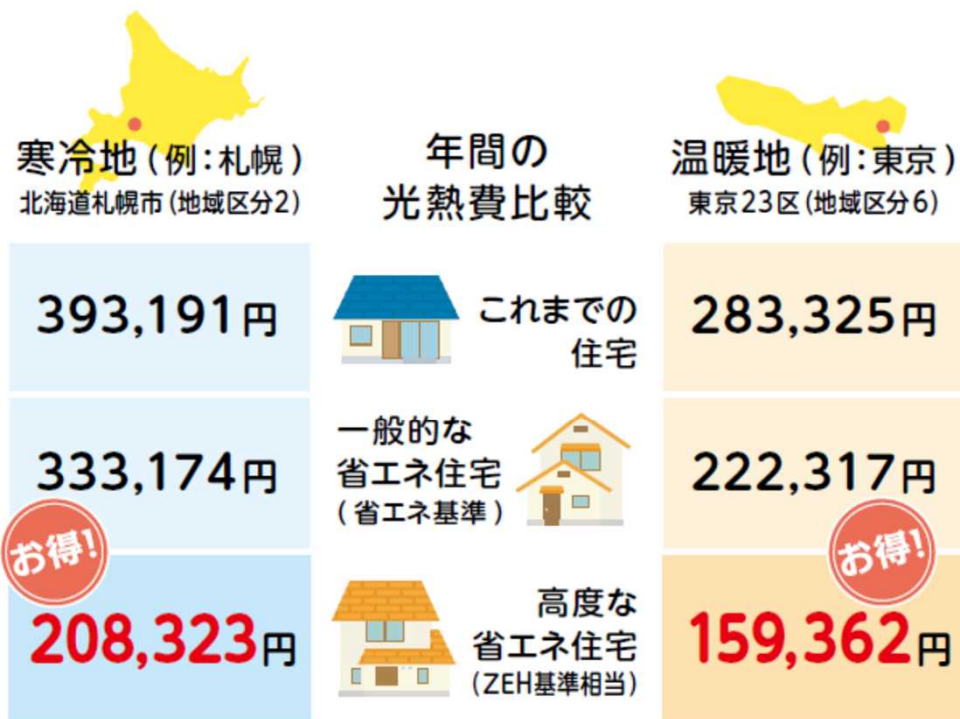


※複数選択式回答 n=203 ※1年以内のリフォーム検討者へのアンケート
 ※アンケート設問全16項目のうち上位7位を掲載
 出典：平成30年度環境省 COOL CHOICE 省エネ住宅推進事業「1万人調査報告書」

省エネ性能が高いと

年間光熱費がこんなに違う！

一般的な住宅よりも、光熱費を抑えることのできる省エネ性能が優れた住宅。10年、20年と住み続けていくうちに、その差はどんどん広がっていくので、早めの選択がお得です！



※太陽光発電による売電は含みません。

※各数値はシミュレーション用に試算したもので、実際の光熱費を保証するものではありません。

出典：一般社団法人住宅生産団体連合会発行「快適・安心なすまい なるほど省エネ住宅」